

# 相手が自民デモ

首相官邸前で原発を訴える抗議行動が、年が明けても続いている。昨年12月の総選挙で「原発ゼロ」に重要な目標が任務し、参加者には希望ムードが湧いた一方、「原発ゼロ」について、長期戦を覚悟した新たな動きも出てきた。衆院選前に進んだ「原発ゼロ」の言葉が、死語になるなど、事態の変化を取材した。（飯塚 史郎）

## 年明けでも続行

抗議活動は毎週日曜日に行われており、今年も1週休んで1日に再開された。東京都豊島区の前野区長藤野さん（68）は「原発ゼロ」の目標が実現しているはずなのに、「原発ゼロ」を叫ぶ人が減っている。日本人の8割が原発に反対しているはずなのに、「原発ゼロ」を叫ぶ人が減っている。日本人の8割が原発に反対しているはずなのに、「原発ゼロ」を叫ぶ人が減っている。

## 共産・笠井議員は比活動

千原市の主婦内田和奈子さん（68）は「2年から仲間入全員で来ないで、3人ずつで参加する」として、先月の比活動に参加した。先月の比活動に参加した。先月の比活動に参加した。先月の比活動に参加した。

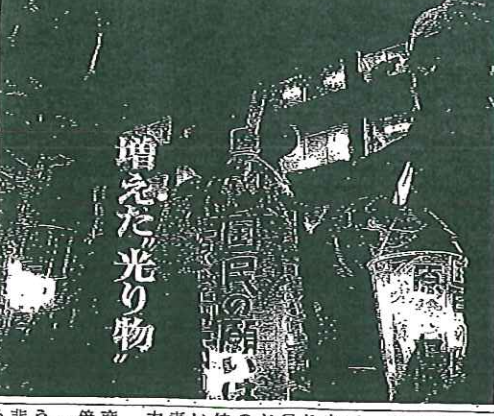
## 当番制の導入も

千原市の主婦内田和奈子さん（68）は「2年から仲間入全員で来ないで、3人ずつで参加する」として、先月の比活動に参加した。先月の比活動に参加した。先月の比活動に参加した。先月の比活動に参加した。

# 反原発訴え続ける

### 与党変わっても思い変わらず 参院選まで長期戦覚悟

**消えた「卒」原発**  
目立つようになったのは、光り物だ。千原市川市の無職田嶋三三さん（68）は、プラカードにメッセージを書き、肉親にLEDランタンを入れて割り箸でつるし、ちようちんに、これを15個作って周りに配り、「卒」を添えて作っている。田嶋さん（68）は「卒」を添えて作っている。田嶋さん（68）は「卒」を添えて作っている。田嶋さん（68）は「卒」を添えて作っている。



抗議活動は毎週日曜日に行われており、今年も1週休んで1日に再開された。東京都豊島区の前野区長藤野さん（68）は「原発ゼロ」の目標が実現しているはずなのに、「原発ゼロ」を叫ぶ人が減っている。日本人の8割が原発に反対しているはずなのに、「原発ゼロ」を叫ぶ人が減っている。

**共産・笠井議員は比活動**  
千原市の主婦内田和奈子さん（68）は「2年から仲間入全員で来ないで、3人ずつで参加する」として、先月の比活動に参加した。先月の比活動に参加した。先月の比活動に参加した。先月の比活動に参加した。

昨年3月から毎週金曜日  
▽官邸前抗議活動 昨年3月から毎週金曜日に市民らが集まり、午後6時から8時まで官邸に向けて原発などを訴える活動。首都圏反原発連合が呼び掛け、ツイッターやフェイスブックなどを通じて情報が広がり、参加者が増えた。大規模な抗議活動が具体化するにつれ規模が膨らみ、昨年6月29日に主催者発表で20万人に上った。

抗議活動は毎週日曜日に行われており、今年も1週休んで1日に再開された。東京都豊島区の前野区長藤野さん（68）は「原発ゼロ」の目標が実現しているはずなのに、「原発ゼロ」を叫ぶ人が減っている。日本人の8割が原発に反対しているはずなのに、「原発ゼロ」を叫ぶ人が減っている。